

## 2015年10月実績概要（メモ）

（2015. 11. 19）

主要石化製品の生産は、合成樹脂を中心として過半が前年を上回る。

### 1. 生産動向

イ) エチレン 587, 800トン

前月比                   + 2.3% (+ 13, 300トン)  
前年同月比           + 6.3% (+ 34, 600トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	+ 3.3%	-
定修要因等	-	+10.8%
能力増減	-	▲ 5.2%
稼働率変動	▲ 1.0%	+ 0.7%
生産増減率	+ 2.3%	+ 6.3%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月93.9%→当月93.0%←前年同月92.4%

定修プラント：前月なし→当月なし←前年同月2社2プラント

2015年1～10月累計生産量 5,687.8千トン 前年同期比+4.8%

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、稼働日数の増加と定修明けもありLD、HD、PP、MMAモノマー、EO、EG、ANなどの11品目がプラスとなった。PS、SM、トルエン、キシレンなどの6品目は定修規模差や稼働率要因からマイナスとなった。

前年比では、稼働率要因、定修規模差等からLD、PP、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、MMAモノマー、SBR、BR、トルエンなどの10品目がプラス。PS、SM、ベンゼン、キシレンなどの7品目はマイナスとなった。

### 2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、LD、HDは日数の増加や定修規模差から、PPは日数増と稼働率要因からそれぞれでプラスとなった。PSは稼働率要因からマイナスとなった。

前年比では、稼働率要因、定修規模差からLD、HD、PPでプラス、PSはマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、為替等の影響から輸入品の減少が継続している。これに伴い当月もポリオレフィンではフィルム分野での出荷増が続いている。また、PSでは当月は包装分野等の出荷が増加し、LD、HD、PP、PSの4樹脂ともプラスとなった。

前年比では、前年の出荷が原料価格の下落の兆候から伸びに欠けたこともあり、4樹脂揃って前年を上回る出荷となった。

ハ) 輸出

中国の国慶節休暇があった中、前月比ではLD、HDは前月に続いてプラス、PPは前月に続きマイナスとなった。前年比ではLD、PPはプラスとなったが、HD、PSはマイナスとなっている。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、PSは減少し、HD、PPは増加した。在庫率(季節調整済)は前月に対してLD、HD、PP、PSともに低下した。在庫水準としては、LD、HD、PPはやや高め、PSはほぼ適正水準となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		9月末	10月末
LD	▲ 10, 200	2.8	2.7
HD	+ 7, 500	2.8	2.6
PP	+ 17, 300	2.8	2.7
PS	▲ 8, 000	1.5	1.2

以上